

津島市立天王中学校区 地域未来塾(ごずてん)

取組の効果

今年は、活動ができるのかという不安の中、2か月遅れで打合せを始め、何度もコロナウイルス感染症対策について話し合った。学校での感染対策を基本に、ボランティア活動期間中は絶対にコロナウイルス感染症を出さないという強い思いの中、いろいろな種類のフェイスシールドを試し、飛沫しないか、話しづらくないか、聞き取りづらくないか、試行錯誤しながら対策を進めた。さらに、噴霧式の手指消毒や非接触型体温計などの準備、使用する机・椅子は、開催日の朝、休憩時間、終了後にアルコール消毒を徹底し、常時換気も実施した。今年は11月からのスタートとなったが、例年通りの15回の活動をした。学習会後の活動報告は聞き取りから、直接的な会話を極力少なくする報告書形式に改善した。ボランティア終了後はできるだけ早く解散するように心掛けながら、学ボラの大学生等にも、感染症対策の相談をしながら活動している。去年のように学校が休校となって活動自体が途中で終わってしまう可能性もあるが、一回一回のボランティア活動を大切にと取り組んでいる。

背景・ねらい | 市内先進校の神守中学校の地域未来塾「ドテラ」を参考にして、見学やアドバイスを経て、学習内容の基礎基本事項の習得を支援する。

対象校・対象者 | 天王中学校3年生

実施教科 | 国語、社会、数学、理科、英語、面接

実施場所 | 中学校内空き教室

実施の形態 | 生徒が教えてほしい教科の問題の解答方法や理解が十分でない内容についての個別指導をしている。

実施日・回数 | 11月～2月下旬の土曜日 15回 午前9時30分～11時30分

登録人数 | 8名 (3密を避けるために、例年より定員を減らした)

参加人数(平均) | 8名



コーディネーター等の取組の様子

学習支援担当ボランティアは、カギの管理、支援状況の把握、生徒とボランティアのマッチングなどを受け持ち、ファイルを通して保護者と出欠席や学習内容の連絡共有に努めている。保護者もスタッフとして支援に協力的である。